

結城一高生が看護師体験

結城一高の2年生2人が、10月12日から14日の3日間、インターンシップで城西病院を訪れました。インターンシップは、実際の職場で仕事を体験することで、職業に対する見聞を広めるとともに、将来の進路決定の一助にしようといわれています。

結城一高からは、医療関係の進学を希望している中川里久君と看護師志望の梅山七星さんの2人。実習に先立ち、2人は救急処置室やCTスキャン室、手術室、検査室、リハビリ室など、ふだんは立ち入ることのできない場所に入り、仕事の様子を見学、説明を聴いたりしていました。

看護師体験は、内科病棟で、ベッドメイキングのお手伝いや病室の清掃、車いす体験、血圧測定など、幅広い体験をしました。看護師の1日の業務に付き添い、食事介助や患者さんのガーゼ交換、点滴や床ずれの処置なども目の当たりにしました。また、内視鏡検査を行っている現場を見学したり、血管カテーテル室の見学、とろみをつけた病院食の試食と、幅広い体験をしました。

中川君は「テレビでは映らない生々しい体験をしました。臨床工学技士という仕事も初めて知り、改めて医療の道に進みたいと思いました」、梅山さんは「普段できない体験をしました。とても大変でやりがいのある仕事と感じました」、と話していました。

平成 28 年 10 月 14 日

